従テ之ニ更ニ会社側ヨリ解決案トシテ
一、要求ハ總テ撤回シ
二、争議団ハ速ニ解散スルコト
三、解雇者ハ復職ヲ認メス但シ昭和二年十月二十日解雇者七百三十余名中百五十名位ハ争議終末後適当ノ時期ヲ撰ミ新ニ採用スルコト
尚ホ又当時猶豫者四十三名中会社ニ於テ事情精査ノ上差支ナシト認ムルモノハ前会様復職ヲ許容スルコト
四、工場規程中第十一条ニ依リ解雇者ニ對シテ一人金一万円ヲ贈呈スルコト
五、争議ニ関シ提起セル刑事問題ノ告訴ハ双方ヨリ之ヲ取下クルコト
六、解雇者ニシテ工場社宅居住ノ者ハ解決ノ日ヨリ三ヶ月以内ニ退去スルコト

ノ六ヶ条ヲ提出シテ議題ニ供シタルモ争議団側ハ拒絶シ斡旋者
他ノ両名ハ右提案ヲ修正シテ会社ニ交渉シ種々懇談ノ色ヲ現シ
同所ノ争議団ハ遂ニ悪化シ我方ノ一層ノ苦痛ヲ嘗メ居ルヲ知リ
ヨトニモ知ル我等ハ十八日ノ会見ヲ得タルニ何等ノ方法ニ依リ面
会スルコトトシ会見準備ニ五十五ト云ヒ午後一時半ヨリ会見ヲ開キ提
者ハ野田劇場ニ於テ争議団ヨリ代表者会社ノ提案ヲ修正シ
会見状況ヲ報告シ会社ノ誠意ヲ我々ニ宣言シ
セシコトヲ宣言シ一層奮闘セン事ヲ懇談シ
本日午後七時五十分ヨリ野田町第二ノ協議